

(3号通信 ; プログラム)

日本教授学習心理学会 第 4 回年会の開催にあたって

開催校担当者

作間 慎一 (玉川大学)

大竹 信子 (玉川大学)

麻柄 啓一 (早稲田大学)

初夏の陽気となりました。会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、この度は玉川大学キャンパスに皆様をお迎えして日本教授学習心理学会第4回年会を開催することとなりました。皆様のご協力を得まして、24件の個人発表ならびに講演を行う予定です。2日間の会期ではありますが、充実した研究発表と交流の場になればと念じております。準備委員一同、皆様のお越しをお待ち申し上げます。

2008年5月23日

参加者へのご案内

受付

1. 年会期間中は受付でお渡しする参加章 (氏名・所属を記入したもの) をお付けください。参加賞は年会参加費の受領書も兼ねています。
2. 受付場所は大学研究室棟 1 階です。
受付時間は大会期間の両日とも午前 9 : 00 ~ 午後 2 : 00 です。
3. 受付は次のように分かれています。
(1) 予約参加者受付 : 年会参加費を前納された方は氏名・所属をお伝えください。確認させていただき、参加章と予稿集などをお渡しします。
(2) 当日会員受付 : 会員で予約されていない方は、「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、年会参加費 7,000 円を添えてお申し込みください。参加章と予稿集などをお渡しします。
(3) 臨時会員受付 : 非会員の方で年会に参加される方は、「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、年会参加費 7,000 円を添えてお申し込みください。参加章と予稿集などをお渡しします。

会場関係

すべて大学研究室棟で行います。

1. 発表会場・講演会場・各種会議
(1) 発表会場 : 大学研究室棟 地階 B101 B107
(2) 講演会場 : 大学研究室棟 地階 B104
(3) 会務総会 : 大学研究室棟 地階 B104
(4) 理事会 : 大学研究室棟 1 階 107
(5) 編集委員会 : 大学研究室棟 1 階 107
2. 休憩室・著作物コーナー : 大学研究室棟 1 階 ラウンジ
飲食はラウンジでお願いします。お茶等をご用意しております。
各会場は飲食禁止、禁煙です。ラウンジに喫煙室があります。
3. クローク : 大学研究室棟 1 階 ラウンジ

第1日目 午前9:00～午後5:30まで
(懇親会に参加される方はその前にお荷物をお受け取りください)
第2日目 午前9:00～午後4:45まで

4. 昼食

校内食堂は休みなので、大学周辺の食堂をご利用くださるか、お弁当等をご準備下さい(駅・大学周辺に食堂・コンビニがあります)

5. 懇親会 大学内の朔風館食堂で1日目の午後5:30から行います。
6. 託児室 ご用意できませんのでご了承ください。
7. 駐車場 大学の駐車場はご利用になれませんので、電車等をご利用下さい。
8. 年会本部事務局および関係者控え室：大学研究室棟 1階 106 107

その他

1. 連絡 会期前および会期中の連絡は下記までお願いします。
〒194-8610 町田市玉川学園6-1-1 玉川大学通信教育部
作間研究室内 日本教授学習心理学会第4回年会準備委員会事務局
:042-739-8873 E-mail: nenkai @ japtl.org
*なるべく電子メールでお願いします。

2. スタッフはリボンを付けています。ご不明の点はお訊ねください。

研究発表・講演について

研究発表

1. 各研究発表に割り当てられた時間は、発表15分・討論15分の計30分になります。時間内に発表と質疑を終了して下さるようお願いいたします。個人発表終了後の残りの時間は質疑や討論にあてます。司会の方は、終了の時間を厳守して下さるようお願いいたします。
2. 発表者が欠席した場合には「発表取り消し」と見なされます。ただし、連名発表の場合には、連名者が発表を代行することができます。責任発表者の交替などの変更がある場合には、年会本部まで速やかにご連絡ください。
3. 当日配付資料がある場合には、各自で30部程度ご用意の上、会場の係員にお渡しください。
4. 会場にはWindowsを搭載したパソコンがあり、データ保存用メディアをお持ちいただければパワーポイントの使用が可能です。使用のご予定の方は、少し早めに会場にお越しいただき、チェックをお願いします。なお、パワーポイントデータは、97-2003のバージョンでご用意ください。

講演

演題 アレックスはいかにして「落ちこぼれの子」に見えるのか
- 場面の組織化と学習の相互的構成 -

講演者 川床 靖子 氏(大東文化大学文学部・文学研究科教授), 博士(教育学)

ご紹介 川床先生は状況的認知論に基づく研究を精力的に行ってこられました。具体的には、学校や職場で人間はどのように学習するのかを、タンザニア、ネパール、日本などでのフィールドワークを通して詳細に記述する仕事をしてこられました。それらの研究成果は、『タンザニアの教育事情』(ほるぷ教育開発研究所), 『状況のインターフェイス』(金子書房), 『学習のエスノグラフィ』(春風社)等にまとめられています。当日は、以下のような内容のご講演をしていただきます。

川床先生による講演要旨 これまでの日本の教授・学習研究は極地方式をはじめとする優れた授業分

析と教授法を生み出してきた。文字通り、教員の「授業を行う力の養成」に大きく貢献してきたものと思われる。一方で、かつての自らの研究を含めて従来の学習研究を振り返ると、その研究方法、あるいは、視点のあり方に多少再考の余地があるように思われる。たとえば、多くの教授法研究では、学習は個人の変化、個人の達成であるという見方を当然の前提としており、教室では個人の評価、個人間の対比のみに焦点が当てられる。そこには、“個人” 或いは“個人の能力” が参加する実践のコミュニティにおける人、もの、装置の配置・編成のあり方（コンフィギュレーション）と共に可視化、構成されるという視点はない。また、多くの学習研究は、教室における教授法とその効果を仮説-検証-結果の枠組みだけで分析してきた。その結果、仮説-検証の筋にのらない様々なできごとが切り落とされる傾向にあった。教室の活動や実験という活動がどのような実践なのか、教室場面やテスト場面ではどのようなことが社会・道具的に構成されているのかといったことへの視線は生じにくかったように思われる。この講演では、教室場面やテスト場面で子どもが“できる” “できない” “正答する” “誤答する” ということ、従来の教授法の研究とは異なるパラダイムによって再考することを試みる。

個人発表スケジュール

個人発表1（6月21日 / 10:00 ~ 12:30 / B 101室） 司会 工藤 与志文

斎藤 裕	県立新潟女子短期大学	大学生の「物質の密度」理解度調査とその学習支援の方向性
小口 祐一	盛岡大学	統計領域における誤った知識の保持状況に関する調査
小野 耕一 平 真木夫	宮城教育大学大学院 宮城教育大学	中学生における学習方略の獲得過程 - 受験生の回想的質問紙調査から -
工藤 与志文 小石川 秀一	札幌学院大学 東北福祉大学	天文現象に関する大学生の認識調査 - 教職をめざす学生の場合 -

個人発表2（6月21日 / 10:00 ~ 12:30 / B 107室） 司会 舛田 弘子

崎濱 秀行	名古屋学芸大学短期大学部	繰り返し書くことで書き手の文章産出活動に対する情意的側面に変化が見られるか？
茅島 路子	玉川大学	ディベートによる自己調整訓練とレポートの変容
松尾 清華 岩本 晃代 久米 弘	九州大学大学院 有明工業高等専門学校・九州大学大学院 九州大学	近代小説と古文を同一単元で用いる総合国語の授業プランの開発研究 - 「羅生門」と『今昔物語』 -
舛田 弘子	札幌学院大学	説明的文章の読解に及ぼす形式的側面の読みに関する教示の効果

個人発表3（6月22日 / 10:00 ~ 12:30 / B 101室） 司会 白井 秀明

三原 泰河 久米 弘	九州大学大学院 九州大学	知識の再構造化を目指したルールと事例の 教示に関する研究 - 種子植物についての縮 小過剰型誤概念を対象として -
小石川 秀一	東北福祉大学	教員養成のための理科教育への考察 - 学生 の自然認識と講義プログラムについて -
白井 秀明 荒井 龍弥	東北福祉大学 仙台大学	小学生のものづくり活動が単元学習に及ぼ す効果 (1)
荒井 龍弥 白井 秀明	仙台大学 東北福祉大学	小学生のものづくり活動が単元学習に及ぼ す効果 (2)

個人発表 4 (6月22日 / 10:00 ~ 12:30 / B 107室) 司会 進藤 聡彦		
河野 麻沙美	日本学術振興会特別研究 員 (東京大学)	算数授業における個々の考え方と知識の協 同構築 - 独自の考え方をめぐる教室談話に 注目して -
後藤 学	米沢市立北部小学校	割合問題の立式過程について - 文章構造と 数値に着目して -
大道 一弘	早稲田大学大学院	等周長問題の解決を阻害するのは何か - 高 さの判断に着目して -
進藤 聡彦 # 横森 勇人	山梨大学 山梨中央銀行	道徳判断に及ぼす社会認識の影響

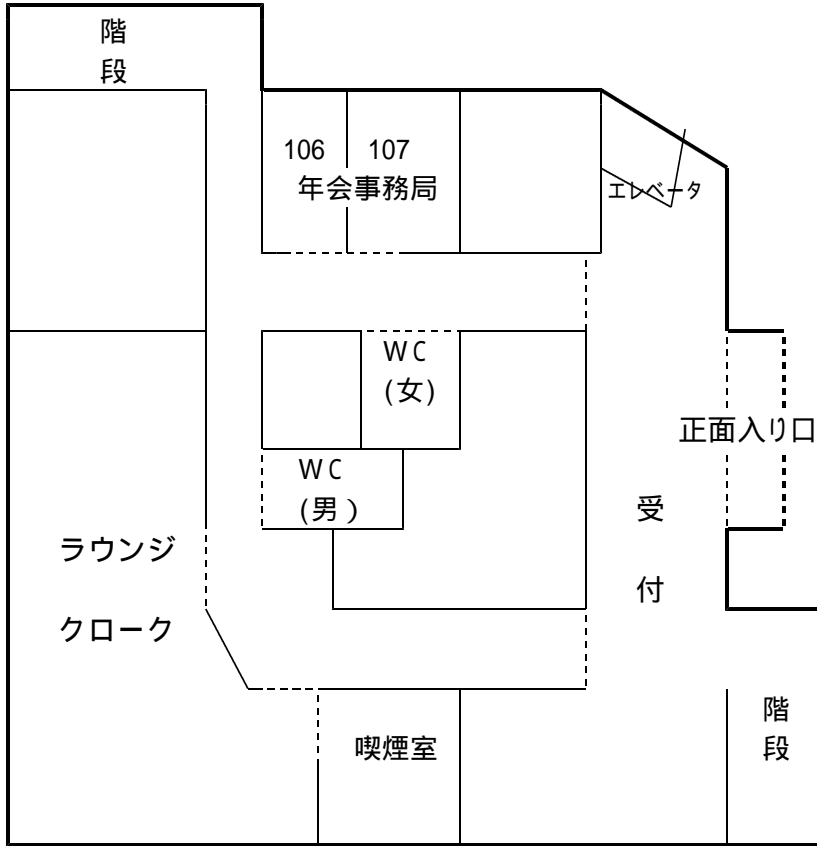
個人発表 5 (6月22日 / 14:00 ~ 16:30 / B 101室) 司会 黒岩 督		
立木 徹 伏見 陽児	茨城キリスト教大学 千葉大学	提示事例の違いは学習過程のどこに影響す るのか
黒岩 督 # 山本 千興	兵庫教育大学 浜松市立佐鳴台小学校	児童の「光」概念の形成に関する研究 - 教 師のキー概念の保持, 素朴性に対する教師 の認知, 児童の素朴概念の保持が与える影 響 -
宮田 佳緒里	東北大学大学院	潜在的ルールの獲得が力学のル・バー修正 に及ぼす効果の検討
植松 公威	東北生活文化大学	誤概念の修正を促しリバウンドを防ぐため のテキスト情報

個人発表 6 (6月22日 / 14:00 ~ 16:30 / B 107室) 司会 吉國 秀人		
大関 嘉成 町田 洋介	東北大学大学院 東北大学大学院	大学生の歴史分野における認識と知識に関 する調査

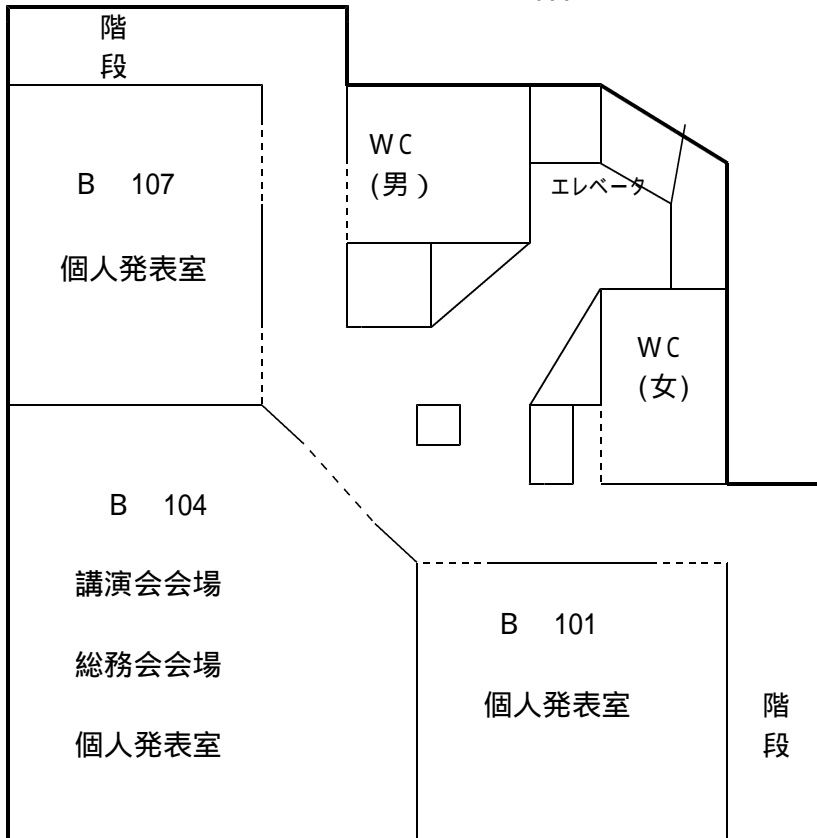
蛭名	正司	東北大学大学院	
佐藤	誠子	東北大学大学院	
宮田	佳緒里	東北大学大学院	
#岩崎	佳奈	東北大学大学院	
#小谷	太志	東北大学大学院	
藤田	拓也	プライム教育センター	歴史教科における螺旋型学習を实践した指導研究 - 進学塾における指導実践 -
岡田	いずみ	早稲田大学大学院	日本語訳が難しい英文への対処
吉國	秀人	鹿児島県立短期大学	素朴理論に基づく英語の応答の様相とその修正

大学研究室棟案内図

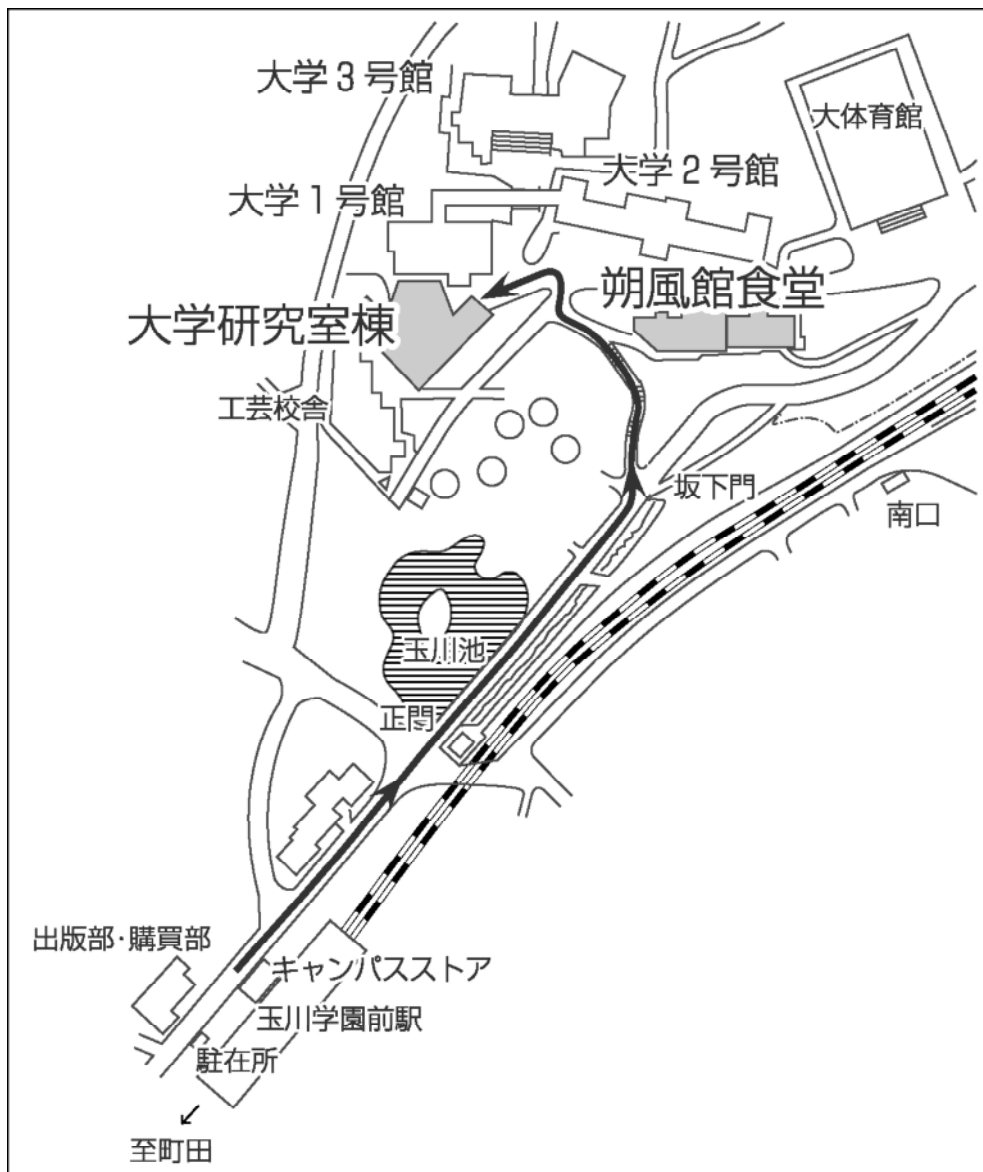
1 階



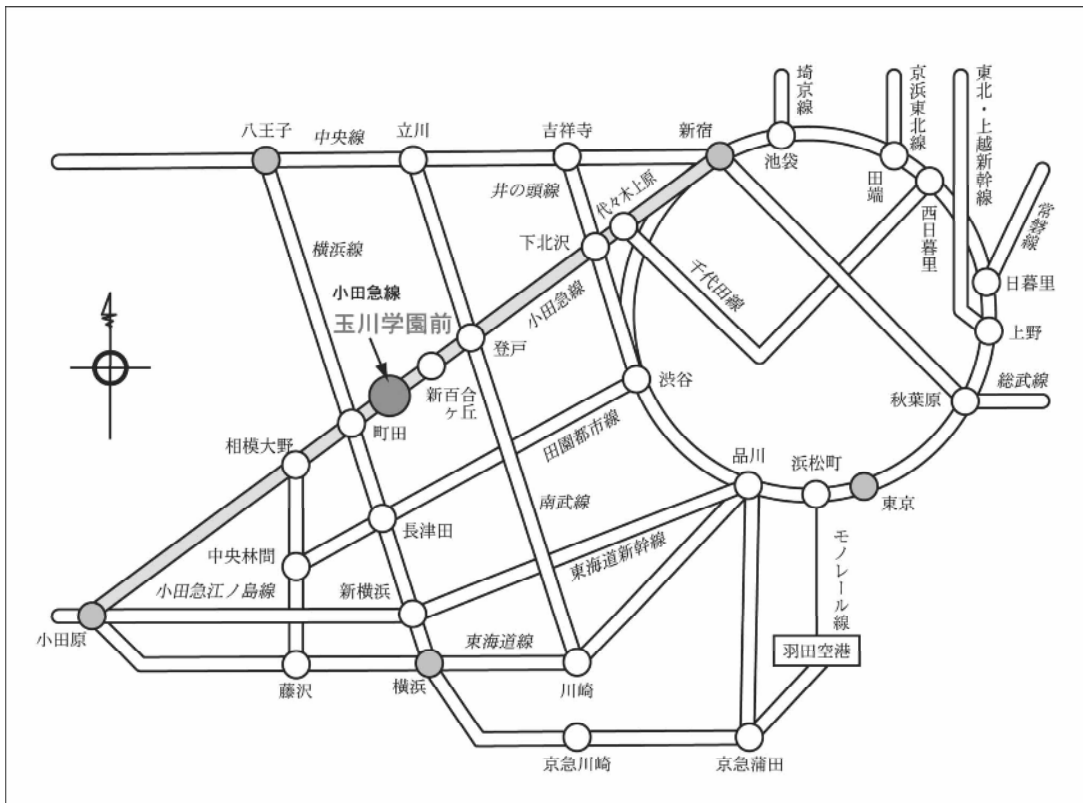
地階



学内案内図



玉川大学までのアクセス



小田急線「玉川学園前」駅下車，徒歩3分

<経路>

新宿より“快速急行”“急行”に乘車し，「新百合ヶ丘」駅にて“各停”“区間準急”“準急”に乗り換え〔新宿から所要時間40分〕

小田原より“快速急行”“急行”に乘車し，「町田」駅にて“各停”“区間準急”“準急”に乗り換え〔小田原から所要時間60分〕

横浜よりJR横浜線「町田」駅にて小田急線“各停”“区間準急”“準急”に乗り換え〔横浜から所要時間50分〕

八王子よりJR横浜線「町田」駅にて小田急線“各停”“区間準急”“準急”に乗り換え〔八王子から所要時間40分〕